

月刊 動労千葉

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.9.1 No. 307B

新小岩^{古部}青年部

●新小岩支部通信員より寄稿

キャンプで団結がたまる

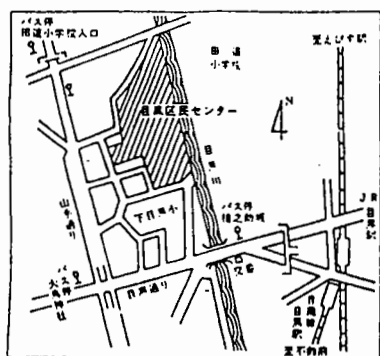
八月二二日・二三日、支部青年部主催で、団結・交流キャンプを開催し、盛大にかちとることができた。

天候にもめぐまれ、二三名が参加、鎌形「幹事長」の号令ではじまり、益川乗務員・会長のカンパいの音頭でいっきに盛り上げていきました。

盛り上がったところで、斉藤青年部長は、「事業団の仲間をとりもどすため闘いぬこう、三里塚や



全国労働者総決起集会にあつまろう



日時 九月十日(日)午後一時開会
会場 目黒区中小企業センターホール
(目黒区民センター内)
(目黒駅下車徒歩一分)

青年部は 肉いの先頭に 組織の軸に



あらゆる闘いを先頭で担おう」と気合いを入れた。本部杉本青年部長も参加し、花火大会やら討論やら、有意義な夜を過ごし、二三日はみんなで朝食をとる。どんな高い料理よりもおいしい!

われわれは、二日間のキャンプの大成功をバネにして、JR総連解体、事業団闘争勝利にむけて大いに頑張ることを誓って散会した。

※ 結集場所、時間は指示通りです。

主催 全国労組交流センター

八月五日、広島原爆資料館や原爆ドームを見た。虫ケラ同様に殺された人々、すさまじい威力で破壊された建物などを見ていてはいけない、また、戦争の責任をとらず死んだヒロヒトは、死してなおも許せないという気持ちでいっぱいになった。

五日の夜は、動労西日本、国労、動労水戸の仲間と交流会を開き、夜を通して楽しく語り合い、今後の決意と連帯を深めてきたところである。

六日は、中国電力本社前で座りこみに参加、機布をわたし固い握手を交してきた。そのあと、広島大学での分科会に参加しデモにうつって出た。終日、集会とデモだ。広島労働会館での反戦集会を最後に、ビジネスホテルに泊まり、その足で七日は長崎に移動。

県労連の参加者とともに、非核平和行進に参加。その時、長崎県評の人が「今年で最後だが、この集会だけはなくしたくない」と言った発言が印象に残った。総評を解散させ、原水協運動までおかしくしてしまおうよなこ

とは断じて許せないという気持ちが腹の底からこみあげてきた。

「日の丸・君が代」を義務づけたり、今の情勢は本当に危険な方向に動いている。だからこそ、反戦・反核をもっと闘わなければならないのだ。「連合」の道は、こうした反戦・平和に逆行する右翼の流れだと思ふ。怒りを感じながら、夕方の反戦集会に参加した。

集会は、三里塚の北原事務局長や闘う人々で熱気のこもったものであり私もだいたいアガッてしまつたが、「反戦のため、JR内の革マルを許さず労農連帯を強め、事業団闘争等々ガンバる」と決意表明してきたところだ。

また、「戦争につながる『連合』への流れに対決するため、交流センターを全国に創り出そう」と訴えたら大拍手を受けた。

私は、広島・長崎に参加して、確かに疲れたけど、本当に勉強になったこの経験をいかし、今後動労千葉としての誇りをもって、「事業団」闘争、交流センター創造のたたかいにまい進していきたいと思ふます。

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!